

日本統計学会 60周年記念

神戸シンポジウム

(1991年7月25日 13:00~17:30)
神戸商工会議所会館において

- | | |
|--|---|
| 1 意識の国際比較と連鎖的調査分析法
統計数理研究所名誉教授 林 知己夫 | 「統計グラフィックスにより統計量」
大阪大学 白旗 慎吾 |
| 2 情報化時代の関西と神戸
神戸市都市問題研究所長 新野幸次郎 | 「統計グラフィックスのソフトウェア」
岡山大学 垂水 共之 |
| 3 パネルディスカッション
オーガナイザー 岡山大学教養部長 脇本 和昌
パネラー
「統計グラフィックスの顧客の創造に向けて
—最近の発展—」
塩野義製薬解析センター 後藤 昌司 | 「統計グラフィックスの主観と客観」
統計数理研究所 馬場 康維
「リモートセンシングデータの利用」
千葉大学 安田 嘉純 |

東京シンポジウム

(1991年11月15日 9:30~5:30)
科学技術館サイエンスホールにおいて

- | | | | |
|--|--------------------------|---|--------------------------------------|
| 開会
あいさつ
基調報告
先端技術社会における統計の役割 | 座長 藤井 光昭
竹内 清
竹内 啓 | 個人・家計情報の供給と利用限界
企業情報の社会的開示のあり方
保健・医療情報の情報公開
討論者
工藤 弘安・舟岡 史雄・岩村 充・地主 重美
(報告者の回答・討論者及びフロアーからの再論・まとめ) | 座長 小尾恵一郎
野田 孜
宮川 公男
吉村 功 |
| 第1部 シンポジウム：データの公表形態の
現代的課題
座長 奥野 忠一 | 永山 貞則
西平 重喜
大橋 靖雄 | 第3部 記念講演：現代社会における統計の役割
座長 大屋 祐雪
統計データに根ざした社会デシジョン
辻村江太郎
計算機社会のデータ処理
赤池弘次
総括報告 | |
| 開かれた政府統計のあり方
日本の世論調査
医学研究データの社会的流通と研究倫理
討論者
腰原 久雄・水野 欽司・浅野長一郎・渋谷 政昭
(報告者の回答・討論者及びフロアーからの再論・まとめ) | | 統計と統計学の採来
あいさつ | 座長 早川 毅
溝口 敏行
丘本 正
進行 松田 芳郎 |
| 第2部 シンポジウム：データベース化社会
における情報のあり方 | | | |